

魅力的な子育てのまち 大和高田



大和高田市「こどもの育みと保育環境」 共同研究について

共同研究会について

大和高田市は、「こどもの育みと保育環境」をテーマに、国の地方創生先行型の助成金を採択されました。平成27年5月～12月にかけて大和高田市・公立保育所保育士・公立幼稚園園長・畿央大学准教授・学生の共同研究会を実施、総合遊具の効率的な利用方法を探ることも必要なため、途中から業者も加わり、公立幼稚園2園・公立保育所6園・公立こども園1園での総合遊具の設置に向けて、健全な子どもの発達を促す総合遊具づくりに取り組むプロジェクトを行いました。

もくじ

大和高田市「こどもの育みと保育環境」…	2～3
共同研究について	
こどもの育みと安全	4～5
設計への取り組みについて	6
子どもを真ん中にした保育	7
子育て支援マップ	8
共同研究圏紹介	9～17
圏の紹介	18～21
大和高田市子育て情報	22
妊娠がわかったら	23
赤ちゃんが生まれた	23
みんなで学ぼう出産と育児	24
子育て仲間をつくろう	25
親子で学ぼう	26
子育てにも日曜日がほしいな	27
保育所（園）に入りたい	28
幼稚園に入りたい	29
こども園に入りたい	30
どうしよう子どもの病気	32





共同研究会

大和高田市

公立保育所
保育士

畿央大学
准教授

こどもの育みと
保育環境

公立幼稚園
園長

畿央大学
学生

安全という価値の見直し

大和高田市の保育は子育てのまちとして総合遊具の設置を考えたのですが、危険はつきものです。そこで、総合遊具の危険性を考えることで真の安全とは何か検討してきました。これまでのように安全の視点だけではない、子どもにとって学びや育ちのある意図的な空間とは何か。その環境の1つとして総合遊具を捉え直す事から始めました。

リスクとハザードという考え方



安全と危険を考えるにあたり、子どもにとって必要な経験まで取り除いていないか問い直しました。

危険を認知できる子どもへ。

失敗から学ぶとよく言いますが、子どもにとっては小さな怪我が大きな怪我を予防することになります。子どもが「あぶない」と感じる直感や身体知は教えられないものなのです。身につけるためには自ら経験し獲得しなければなりません。これは教育の世界では良く知られているアメリカのジョン・デューイの経験主義的教育から考えられることです。デューイは Learning by doing 「為すことによって学ぶ」と説きました。

子どもの対応力と判断力を身につけることが
子どもの学びであり、保育・教育ではないか

Learning by doing 為すことによって学ぶ

ジョン・デューイ

個性

能動性

自発性

Learning by doing 為すことによって学ぶ

達成感・自信

個性・能動性・自発性を重視することで、子どもは達成感をもち、自信へとつなげていきます。子どもは自分の力を使いたがっているのです。そのためには、子どもにとって多少の怪我は必要な経験とわかりつつも、いつでも助けてくれる保育者や大人の暖かい眼差しが大切です。子どもが自分の身を守ることを学んだり痛さを感じたりと危険を認識することができるのは経験が重要となります。現代では危険を子どもから遠ざけることが「安全対策」とされてきました。しかし、それでは子どもが育たないのではないのでしょうか。子どもにもっと、失敗するチャンス・小さな怪我をしてもいいチャンスを保障してあげないといけないのかもしれない。「チャンス」なので、必ずさせるわけではありません。年下の子どもが「やってみたいなあ」と年上の遊びにあこがれをもつことや、「自分にもできるかな」とできるかどうか考えてみることも重要な経験であり、安全を身につけるチャンスなのです。

教育的な意図

保育所・幼稚園・認定こども園は、保育室内だけでなく、門から1歩入ると園庭を含めて全てが教育的な意図をもった環境設定になっています。このようなことを考えたとき、ただ既製の総合遊具を置くのではなく、各園にあった総合遊具の設計をしないと希望をだしました。今回の総合遊具のコンセプトは保育としての教育的な意図性を持った環境物の設定に有ります。挑戦要素のパーツを選んで、各園の子どもの人数、年齢を考慮しアレンジした設計を業者にお願いしました。また、園庭のどこに設置するかで長さや大きさも変わってきます。各園の保育者の「願い」を込めたことで全ての総合遊具が違うデザインとして出来上がりました。

本事業の総合遊具では必ず木製を一部使っています。

木製を取り入れたかったのは、木に触れることで心の安定をはかることと、木にかかわることで木のぬくもりを知ることでした。子どもには感性を研ぎ澄ます遊びができるように、木製、高さ、挑戦要素の高い遊びを通して、諸感覚（五感）、身体機能、想像力（心のイメージ）をフルに使って感じ取る力を伸ばすことをねらいとしました。

木製の遊具を通して育まれること

諸感覚（五感）

身体機能

想像力
（心のイメージ）

躍動的に遊ぶ子どもに落ち着いた行動を促す
心の安定があるからこそ遊び学ぶ子どもの姿

アグレッシブな動きだけを想定しているのではなく、時には総合遊具の高い床の上で友達とひそひそ話や日なたぼっこ、ごっこ遊びをする姿もあると考えています。「保育」とは養護の側面と教育の側面が切り離せないものです。子どもは安心していないと活動しないからです。自分の居場所があり、環境（ものや保育者、友達、いきものなど）と出会い、自発的に遊び、達成感を味わい満喫します。木製の意味は、躍動的に遊ぶ子どもに落ち着いた行動をうながすサインとして、また、心の安定があるからこそ遊び学ぶ子どもの姿があるのだという、大人への啓発の意味も込めた保育の象徴としてデザインされています。



こうした効果は主観的なものであり、実証されたものではありません。また、総合遊具だけで子どもが育つわけでもありません。普段から保育はこのような教育的な意図をもって行われています。それを市民の方々にご理解いただけることが今回の設置の大きな効果なのかもしれません。市民の皆様にも、よりよい子どもの環境とは何かを考える“チャンス”になれば幸いです。

子育て支援マップ

公立こども園

- 1 高田こども園
- 2 土庫こども園

公立保育所

- 3 片塩保育所
- 4 天満保育所
- 5 みどり保育所
- 6 高田西保育所

公立幼稚園

- 9 浮孔幼稚園
- 10 浮孔西幼稚園
- 11 片塩幼稚園
- 12 徳園幼稚園
- 13 高田西幼稚園
- 14 菅原幼稚園

私立こども園

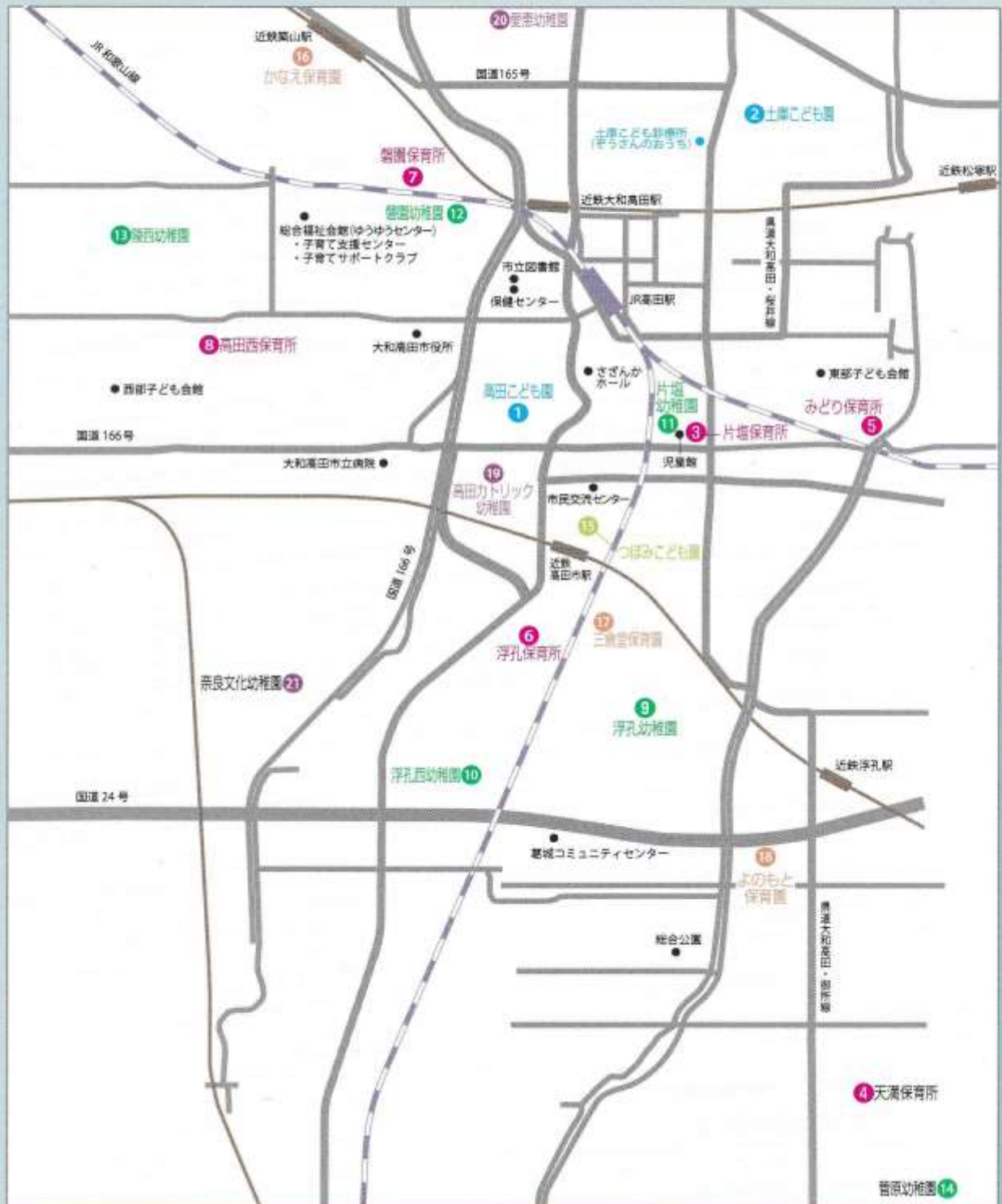
- 15 つほみこども園

私立保育所

- 16 かなえ保育園
- 17 二倉堂保育園
- 18 よのもと保育園

私立幼稚園

- 19 高田カトリック幼稚園
- 20 愛恵幼稚園
- 21 奈良文化幼稚園



片塩保育所

導入前



導入後



導入後



総合遊具が入る前の子どもの姿

未満児

保育者と一緒に、小さなすべり台を砂場で、感触あそびや型抜き、山づくりを楽しんでいる。ハウスでいないないばあをしたり、「いらっしゃいませ」「どうぞ」など、簡単な言葉のやりとりを楽しみながらのこっこあそびをしている。

以上児

以上児友だちとルールを決めながら、鬼ごっこやじゃんけんゲームを楽しんでいる。縄跳びや鉄棒、うんていなどを繰り返し練習している。ケーキやお団子をつくり、ハウスに並べ、こっこあそびを楽しんでいる。三輪車で園庭中を走り回る姿も見られる。

総合遊具が入った後の子どもの姿

未満児

新しい遊具に興味を示し、喜んで遊んでいる簡単なすべり台だけでなく、クライミングやロープ登りなどにも、挑戦する姿がある。

以上児

遊具がだんだんと出来上がる様子を見て、完成を心待ちにしていた子どもたち。遊具の使い方、あそびの約束を聞き、順番を守ってあそんでいる。総合遊具ならではのいろいろな動きにチャレンジし、うまくできると喜び、繰り返し楽しんでいる。できないと、諦めてしまう子どももいる。

考 察

- 保育者との関わりを求める子どもも多いが、年齢が上がるにつれて、友だちとの関わりを楽しむ姿がある。
- 歩行の安定していない子どもは、行動範囲が広がりにくい。保育者が様々なあそびに誘い、楽しさを共有することで、興味を持てるようにしている。
- 友だちと一緒にあそぶ中で、ルールや順番を守れないこともあるが、その都度保育者が仲立ちをし、ルールの確認を繰り返すことで、一人一人が楽しんであそべるようにしている。

- 新しい遊具でのあそび方について、保育者間で話し合い、子どもたちと一緒に確認しながら、保育者が各位置につき、見守ったり援助したりすることで、安全にあそぶことができている。
- 総合遊具が入ったことで、全身を使ってあそび、繰り返し挑戦してみようとする姿が増えている。
- やってみたい、できるようにになりたいという気持ちに寄り添い、保育者が一人一人に合った援助をし、できたという達成感を味わえるようにしていきたい。
- 慣れてくると約束を守れず、大胆なあそびが危険に繋がるので、その都度使い方やルールを知らせ、安全にあそべるようにしていきたい。
- できないと諦めてしまう子どもには、チャレンジしてみようという気持ちを持てるよう、保育者が援助することで、繰り返しやってみようとする姿が増えている。

天満保育所

導入前



総合遊具が入る前の子どもの姿

2~5歳児

総合遊具が入るまで、2~5歳児は主に砂場で遊んでいました。ままごとをしたり、山を作ったり穴を掘ったり…、各年齢により遊び方は違っていました。友だちや保育者と、砂場でのあそびを楽しんでいました。また、友だちと追いかっこをしたり、ボールで遊ぶ姿も見られていました。

0歳児

0歳児は個人差が大きく、歩行が完成していない子どももいますが、保育者と一緒に興味のある所へ行くなど、探索活動を楽しんだり、日向ぼっこをしたりしています。その中でも活発な子どもは手押し車を押ししたり乗ったりして遊んでいました。

1歳児

1歳児も手押し車を押ししたり、車の乗り物に乗ったりして遊んでいました。自分で車に乗り足で地面を蹴って車を動かしたり、友だちの乗っている車を後ろから押ししたりして、楽しむ姿が見られていました。総合遊具がある場所は元々、使用できなくなり枠だけとなった固定遊具跡がありました。この枠をうまく活用できないかと職員間で話し合い、簾や遮光ネットを張り、夏には涼める場また秘密基地として楽しめる場になりました。

0~5歳児

0~5歳児それぞれのあそび方・楽しみ方ができる場となり、砂遊びやままごと、友だち同士で会話を楽しむ姿などもありました。

導入後



総合遊具が入った後の子どもの姿

3~5歳児

総合遊具が入ってすぐは、初めての大きな遊具ということで、子どもたちの目はキラキラしていました。遊ぶ前にはルールや約束の確認をし、安全に遊べるようにしました。ほとんどの子どもが総合遊具に興味を持ち、3~5歳児は自分たちでルールを伝え合い、楽しく遊ぶことができています。「順番を守る」ということも社会性の第一歩だと考えます。

0~1歳児

0~1歳児はすべり台に興味を示し近づく姿もありました。そんな子どもの様子を見守りながら、楽しくあそんでいきたいと思っています。

考察

この総合遊具には、36の動作の中にある「のぼる」「わたる」「つかむ」「ひく」等を含んだ様々な動きを通して、遊びを楽しむことができます。楽しみながら手足・腰の強化に繋がるのではないかと考えています。意欲的に挑戦する子どもが多く、クライミングでは、自分で手や足を置くところを考えて、何度も挑戦する姿もありました。2・3歳児は「先生、どうやってするの?」「次はどこ?」と保育者に手助けを求める子どもがいたり、途中で怖くな

り、保育者に助けを求める子どももいました。今では一人で挑戦しています。毎日のように遊具で遊ぶ機会がありますが、慣れてくるとあそびを変えてみたり、気が緩んだりすることもあり危険に繋がることが考えられます。再度約束を確認したり遊ぶ様子を見守ったりと、安全に楽しく遊ぶことができるように日々気をつけています。総合遊具を通して様々な体の動きや、友だち・保育者との関わりを深められたら…、と考えています。

みどり保育所

導入前



導入後



総合遊具が入る前の子どもの姿

- 戸外であそぶ時は、砂場であそぶことが多い。型抜きやカップを使って見立てあそびをしたり、保育者に渡したりしてあそんでいる。
- 鉄棒、すべり台、砂場と次々にあそび、一つの遊具であそぶのではなく、いろいろな遊具を楽しんでいる。
- ジャングルジムの一番上に登り、眺めを楽しむ子どもがいた。ところどころに、枠がないので降りる時はとても慎重である。
- 2～3クラスが一齐に戸外あそびをする時は、すべり台が特に長い行列になる。4・5歳児がうんていにあそびにいくと、それについて3歳児も一緒にあそぼうとする。保育者に支えてもらおうと嬉しそうにぶら下がっている。
- 砂場あそびでは、シャベルなどの大きいものは、小さい子どもがいないところ、いない時に使うようにしている。カップなどの道具が少なく、けんかになることも多い。

総合遊具が入った後の子どもの姿

- 戸外に出ると、新しい遊具に一直線である。スロープクライミングに興味津々で、あそぶ前に約束事をしていたこともあり、順番に並んであそびを楽しんでいた。
- のぼり棒はあそぶ機会が少なく、子どもたちはあそび方を知らなかったので、保育者が傍で見守りながら、あそび方を知らせることで、徐々に慣れていった。
- 0.1歳児は、小さなすべり台で自分たちで、すべることを楽しんでいる。
- 2.3歳、3.4.5歳などは、異年齢で外に出て、一緒に大型遊具であそぶことも増えた。年上の子どもが「順番に並ぶねんで」「大丈夫？登れる？」など声をかけている。年下の子どもは、お兄ちゃんお姉ちゃんについていこうと挑戦する。大型遊具だけでなく、一緒に外に出ることで、おにごっこやしっぽとりのような、ルールのあるあそびも、教えてもらいながら行っている。
- トンネルに入り、「ちょっと休憩～」と自分たちで、居心地の良いところを見つけてあそんでいる。

考察

遊具が入る前は、すべり台やジャングルジムより、砂場あそびをする子どもが多かった。子どもたちは、何か道具があるところに集まっていた。すべり台やジャングルジムは、異年齢であそぶことは難しく、遊具はクラスごとに使うようにしていたが、異年齢でのかかわりが多い保育所なので、砂場でそのままこやおにごっこは一緒にしていた。新しい遊具ができては変わらず、年下の子どもを思いやりながらあそぶ姿がある。また、異年齢

の友だちの姿を見ることで、子ども同士良い刺激にもなっている。大型遊具の中には、年齢に合ったあそべる場所があるので、一か所に集まることもなく、子どもたちが満足できているように思う。何回もあそぶうちに、子どもたちも慣れ、また遊具の使い方が分かり、危険な部分は少なくなった。あそびを通して、腕や足の筋肉がしっかりと使えて、良い経験になる。少しずつ難しいところ(のぼり棒など)にも、チャレンジできるよう見守りたい。

磐園保育所

導入前



導入後



総合遊具が入る前の子どもの姿

0~2歳児

未満児(0~2歳)は、砂場でカップやお皿に砂を入れて、料理に見立てて遊んだり、砂場の横にあるハウスでごっこあそびをしたりして楽しんでいた。また四輪車や三輪車、鉄棒、滑り台などそれぞれ好きな遊具で遊ぶ姿が見られた。四輪車や三輪車に乗って園庭中を走ったり、鉄棒ではぶら下がったり、滑り台では上まで登って「おーい先生!」と呼んだり、繰り返し滑ったりして楽しく遊んでいた。

3~5歳児

以上児(3~5歳)は、友だちとのかかわりが増えてきたり、集団で遊ぶことが多くなってきているので、友だちや保育者と一緒に鬼ごっこや追いかけっこをしたり、ハウスやテーブルを使って、ごっこあそびをしたりして遊んでいた。そして、滑り台、のぼり棒、ジャングルジム、ブランコ、鉄棒などの遊具で遊んだり、三輪車やスクーターで園庭を走り回ったり、ボールを使ってサッカーやキャッチボールをしたりすることを楽しむ姿も見られた。

総合遊具が入った後の子どもの姿

0~2歳児

0,1歳児は小さい滑り台を喜び、何回も滑って遊んでいる。スロープクライミングにも興味を持つ子が出始め、初めは上まで登ることが出来なかったが、手と足の使い方を知らせると、登れるようになってきている。2歳児になると、つり橋にも興味を持ち、初めは怖がりながら慎重に進んでいた子も、慣れてくると喜んで遊んでいる。年上の友だちがクライミングをしているのを見て、挑戦しようとする姿も見られる。

3~5歳児

以上児は、今までなかったクライミングや雲梯をとっても喜び、積極的に遊ぼうとする姿が見られている。クライミングはほとんどの子がすぐに登れるようになってきている。雲梯は保育者が腕を前に出すタイミングを教えると、体を上手く使って進んでいける子が増えてきている。出来ない子も他児が遊んでいる姿を見て、挑戦しようとする意欲が見られる。また、一段飛ばしにも挑戦しようとしている子もいる。スロープクライミングは自分たちで遊び方を工夫したり、のぼり棒は登ろうと挑戦したりする姿が見られる。

考察

未満児はスロープクライミングやクライミングで初めて遊んだ子が多く、最初はどこに手足をかけたらいのか、どこに力を入れたらいいのかわからない様子であった。しかし保育者が丁寧に教えることで、体験しながら体の使い方を学んでいく姿が見られた。遊んでいる中で自然と体力やバランス感覚が身につく、挑戦してみようという意欲などにもつながっていていることを感じた。また、年上の友だちが遊んでいる様子を見て、憧れの気持ちを持つ子もいるので、その子ども達の気持ちを大切にしながら模倣から成長に繋げていけるようにかかわっていききたい。以上児は今までぶら下がるという活動が少なかったが、今回雲梯が設置されたということで遊びの中で取り入れていくことが出来るようになった。雲梯は腕の力だけではなく全身も使うので体力作りにつなげていきたい。他児が雲梯やのぼり棒をしている姿を見て、運動が苦手な子も「やってみよう」という意欲を持つことが出来てきているのでその気持ちを大切にしながら、必要に応じて手助けをしたり、時には

見守ったりしながらさらに意欲を高めていけるようになっていきたい。総合遊具が設置されたことにより、体を動かすことが苦手な子も積極的に遊具で遊ぼうとする姿やなかなか自信が持てない子が楽しそうに遊び、出来ないことにも挑戦しようとする姿も見られるようになってきた。そして、総合遊具で遊ぶことによって身体的な発達・運動能力の育成に今後さらにつながっていくことはもちろんのこと、友だちと一緒に工夫しながら遊びを考えたり、友だち同士で教えあったりすることによってコミュニケーションの場となっている。さらに異年齢の友だちとも遊ぶことによって、年下の子は年上の子に対して憧れの気持ちを持つことが出来るようになっていたり、年上の子は年下の子に対して思いやりの気持ちを持って接したりすることで、社会性が育っていくと考えられる。総合遊具で遊ぶことを通して、様々な面における子どもたちの成長・発達につながっていくことになると思う。

浮孔幼稚園

導入前



- 固定遊具がほとんどないので、遊びの場の設定を教師が構成することが多く、幼児から主体的に考えたり発想したりして遊びを展開するのはむずかしかった。

導入後



- 2階部分はハロウィンごっこ仲間が集まって、魔女のほうきで滑り降りる相談。



- みんな一緒に楽しく遊べます。



- 遊具をごっこ遊びに活用し、イメージを共有して遊ぶ。

導入後



- 様々な遊びを主体的に展開する姿に。試行錯誤できる庭・幼児が集える庭に。



- 「のぼれたよ〜!」達成感・自信・意欲へ



- クライミングは忍者の修行では逆登りで少し難しくして、忍者ごっこが楽しくなったよ。



- 幼児が遊具に主体的にかか活用方法を創意工夫できるとして遊ぶお手伝いをして
- 幼児が意欲的に挑戦すること化をふせぐことになりま経験から、主体的に学ぶことすればよいかを考えていま
- 木のぬくもり、匂い、木はた。さらに手作りの木製遊具を目指し、保護者・地域の夢中になって遊ぶ庭を完結

浮孔西幼稚園

導入前

平成25年度より3年保育が実施され、受け入れに当たり保育室の環境整備等工夫を行ってきた。しかし、園庭の遊具は3歳児対象ではないことから、常にすぐそばでの教師の見守りや補助が必要であった。

導入後



今までなかったスロープクライミングや、つり橋は子どもにとっても魅力的で、思わずやりたくなる要素がいっぱいである。



今までは、隣接する小学校の雲梯を使用していた。そのため教師と一緒にないと使えなかったが、今では幼児がしたいときにすぐ挑戦できるようになった。高さも幼児向けで、今まで躊躇していた子も挑戦する姿が見られた。また、友達がたくさん進むと「よし、私だって」と張り切る姿が見られ、力を発揮していた。園庭開放で早速「みてみて」とおうちの人も報告していた。

以前から園庭にあった滑り台は、高さがあり滑ることに「怖さ」を感じていたA児。今までは自ら挑戦することはなかったが、新しい遊具は高さも長さも「怖さ克服」にピッタリ。一度滑ると次からは、自分から何回も繰り返し挑戦し、幼稚園やおうちの人もみんなに「僕、行けたよ」と嬉しそうに伝えていた。

考察

- 幼児の意欲をかき立てる新しい遊具に、子どもたちは興味津々である。今後も、登る・握る・バランス感覚など大いに体感させ、他の遊びともつなげながら、「面白い」「楽しい」「挑戦しよう」という気持ちを高めていきたい。
- 運動遊びは個々の能力の差があり、到達点は一定でない。個々に応じて援助することで、幼児は達成感を味わうことができる。その経験を積み重ねることで、自尊感情を高め、更なる意欲へとつなげていきたい。



● 友達とのコミュニケーションの場に



● タワーキャビンの2階部分は安心できる広さ。そこに登ることで同じ高さのジャンクルジムにも登れたよ。

教員の役割

わりながら、遊びの目的に合わせた様々なように、幼児の思いを受け止めながら、楽しませます。

とで、運動能力の向上になり、ケガの重症。心身の成長には、様々な感情体験や実体験が大切です。生きる力をつけるには、どうすればいいか。

腐っていくものという木の特性を学びました。遊具で「子どもがワクワクする園庭づくり」の方々・職員みんなが力を合わせて、園児が楽しめることができました。

高田西保育所

導入前



導入後



総合遊具が入る前の子どもの姿

- そうさんのすべり台やハウス、固定遊具、砂場などであそぶ姿があった。0,1,2歳の未満児の子ども達は、何度もすべり台をすべったり、ハウスに入って窓から顔や手を出したりして楽しんでいた。
- 3,4,5歳の子ども達は、登り棒がついている固定遊具でよくあそんでおり、登り棒にチャレンジする姿があった。自分の目標を決めている子や、裸足になって登る子など友だちから刺激を受けながら挑戦していた。
- ハウスの中では、3歳や4歳の子ども達が、葉っぱや小枝、花びらなどを食べ物に見立て、ジュース屋さんやお店屋さんのようにしてあそんでいた。それを見た1,2歳の子ども達が、一緒になってまねをし、「どうぞ」と言って友だちや保育者に渡して、あそび始めるなど異年齢でかかわる姿も見られた。
- 普段の集会で、異年齢でペアになってふれあいあそびをしていることもあり、低年齢の子がすべり台であそんでいると、ペアのお兄ちゃんお姉ちゃんが見に来て、「こうすんねんで」「順番やで」と声をかけて一緒にあそぶことがあった。

総合遊具が入った後の子どもの姿

- 新しい遊具が入ると、今までになかったクライミングやロープ登りなどがあり、喜んであそぶ子ども達の姿がある。未満児の子ども達は、主に小さい方のすべり台であそんでいる。特に1歳児では、初めは階段を登ることも怖がっている様子もあったが、喜んで何度も繰り返しすべっている。また、斜めのクライミングも、年上の友だちがしている様子を見て、挑戦しようとする子が多い。初めは登れなくても、何度も繰り返し、手足にしっかり力を入れて、登ろうと体を使ってあそんでいる。
- 以上児の子ども達は、垂直クライミングも挑戦し、できると嬉しそうにしていた。手足をどこにかけるかなど、繰り返しする中で上達していった。友だち同士で、大きいすべり台をすべり、その後すぐに友だちと追いかっこをするなど、遊具を使って活発にあそぶ姿があった。
- 以上児は大型遊具だけでなく、縄跳びや鉄棒などでもあそび、体を動かしている。できなかったことができるように、戸外であそぶたびに練習している。大型遊具が入る以前と同じように、ハウスやジャングルジム、土管などであそぶ子ども達も多い。

考察

- 新しい遊具が入ったことで、初めはみんな興味津々の様子であそんでいた。クライミングなど今までになかったものは、初めは行列ができていたが、ロープや登り棒など数か所から登れるため、何度かあそぶと混雑することは減ってきた。初めはただ遊具をそのままあそぶ姿だけであったが、遊具を使っただけの追いかっこをするなど、少しずつあそびに広がりが出てきている。今後は、どのように遊具を介して、あそびが発展するのかを見ていきたい。
- 遊具が入る前後両方で、異年齢のかかわりが見られた。年上の友だちがしている姿を見て、刺激を受け、真似をしてあそ

んでいると感じることが多い。また遊具を通すことで、異年齢でかかわることであそびだけではなく、順番を待つことや安全にあそぶことなどを、子ども同士で教え合ったり、知ることができる機会にもなっている。

- 総合遊具が入ったことで、今まで年齢で分かれていたあそびが、一つの場所に集まってあそぶことができるようになったと感じる。大小のすべり台やクライミングなどがあり、それぞれの年齢に応じてあそべるため、総合遊具を中心に異年齢が集まる場所となり、異年齢でのかかわりが広がってきている。

土庫こども園

導入後



考察

●土庫こども園は、総合遊具の設置が、一番最後となり、3歳以上の子ども達は、もともとあそべる遊具が少なかったこともあって、待ちかねていたように列をつくってあそんでいました。子ども達の様子を見守っていると、最初は、階段をのぼってすべり台をすべるといふ、単純なあそびから途中にあるのぼり棒をつかっただけのぼり棒をのぼってみたり、クライミングをしてあがり、のぼり棒をつかっただけというように、遊びがどんどん広がり、保育士が何も言わなくても、子ども達だけで、つぎつぎといろいろなあそび方を見つけていきました。総合遊具が設置されたことにより、体を動かすことはもちろんですが、子ども達がみずから考え、行動し、達成するよろこびを味わえたことはこれからの子ども達の育みに、とても良いことだと実感しました。このことを踏まえ、保育士の良い関わりを実践していきたい。



片塩保育所



- 所在地 〒635-0036
大和高田市旭北町4番34号
- TEL・FAX 0745-22-3190
- 定員 120名

保育目標

なかまと共に、生き生きとあそび、
心ゆたかな子どもを育む

めざす子ども像

- 元気で明るい子ども
- 心ゆたかな子ども
- なかよくあそべる子ども
- 考える子ども

保育時間

- 通常
平日 午前8時30分～午後4時30分
土曜日 午前8時30分～正午
- 基本時間外保育を含めた最長利用時間
平日 午前7時30分～午後7時
土曜日 午前7時30分～午後4時

天満保育所



- 所在地 〒635-0059
大和高田市吉井74番地2
- TEL・FAX 0745-53-3400
- 定員 120名

保育目標

- 心身共に健やかでよく遊ぶ子
- 十分に行き届いた環境の中で、様々な欲求を満たし、情緒の安定を図ると共に心身の健康の基礎を培う。
- 命を大切に、自ら安全に行動できる力を身につける。
- 自然や社会の事象に興味や関心を持ち、豊かな心情や思考力を育てる。
- 友達とのかかわりの中で、認め合い協力して行動できる態度を養う。
- 生活体験を豊富に、地域の文化に触れ、豊かな感性と創造力を養う。

めざす子ども像

- 元気で明るい子ども
- 心ゆたかな子ども
- なかよくあそべる子ども
- 考える子ども

保育時間

- 通常
平日 午前8時30分～午後4時30分
土曜日 午前8時30分～正午
- 基本時間外保育を含めた最長利用時間
平日 午前7時30分～午後6時
土曜日 午前7時30分～午後4時

みどり保育所



- 所在地 〒635-0012
大和高田市曙町20番35号
- TEL・FAX 0745-52-4891
- 定員 90名

保育目標

- 「心身共に豊かで、元気に遊べる子」
子ども一人ひとりの人権を大切にし、様々な体験や遊びを通して豊かな感性や意欲的に取り組む態度や根気強さを育てる

めざす子ども像

- 元気で明るい子
- 心ゆたかな子ども
- なかよく遊べる子ども
- 考える子ども

保育時間

- 通常
平日 午前8時30分～午後4時30分
土曜日 午前8時30分～正午
- 基本時間外保育を含めた最長利用時間
平日 午前7時30分～午後6時
土曜日 午前7時30分～午後4時

浮孔保育所



- 所在地 〒635-0046
大和高田市西三倉堂一丁目13番14号
- TEL-FAX 0745-22-3008
- 定員 150名

保育目標

- 心身共に豊かな子どもを育てる
体を動かす気持ちよさを十分味わい、
進んで体を動かす意欲を育てる

めざす子ども像

- 元気な明るい子ども
- 心ゆたかな子ども
- なかよくあそべる子ども
- 考える子ども

保育時間

- 通常
平日 午前8時30分～午後4時30分
土曜日 午前8時30分～正午
- 基本時間外保育を含めた最長利用時間
平日 午前7時30分～午後7時
土曜日 午前7時30分～午後4時

磐園保育所



- 所在地 〒635-0072
大和高田市有井108番地2
- TEL-FAX 0745-53-3000
- 定員 90名

保育目標

- 仲間と共いいきいきと意欲的に活動し、
心豊かに生きる力を育てる
(ひとりひとりを認める保育)

めざす子ども像

- 友だちと一緒にいきいきとあそべる子ども
- 心も身体も健康で心豊かな子ども
- 自分も友だちも大切にし共に支えあって
いける子ども
- すすんで物事に取り組み最後までやりぬ
く子ども
- 豊かな感性をもち、感じた事考えた事を
表現する子ども

保育時間

- 通常
平日 午前8時30分～午後4時30分
土曜日 午前8時30分～正午
- 基本時間外保育を含めた最長利用時間
平日 午前7時30分～午後6時
土曜日 午前7時30分～午後4時

高田西保育所



- 所在地 〒635-0074
大和高田市場535番地1
- TEL-FAX 0745-22-6775
- 定員 120名

保育目標

- 人とのつながりを大切にする保育
- 環境を大切にする保育
- 早寝早起き朝ごはんの食育
- 保育所と家庭との共育で保育
- 地域の中での子育て保育

めざす子ども像

- 友だちと一緒にいきいきあそべる子
- 元気な子ども
- 心豊かな子ども
- 仲良くあそべる子ども
- 考える子ども

保育時間

- 通常
平日 午前8時30分～午後4時30分
土曜日 午前8時30分～正午
- 基本時間外保育を含めた最長利用時間
平日 午前7時30分～午後6時
土曜日 午前7時30分～午後4時



高田こども園



- 所在地 〒635-0087
大和高田市内本町11番22号
- TEL 0745-43-5001
FAX 0745-43-5002
- 定員 保育認定子ども100名
教育認定子ども120名

教育・保育目標

- 心豊かにいきいきと生活し、
じっくりと考える子の育成

めざす子ども像

- 元気な明るい子
- 思いやりのある子
- 考える子

教育・保育時間

通保育認定子ども

●通常

平日 午前8時30分～午後4時30分

土曜日 午前8時30分～正午

●基本時間外保育を含めた最長利用時間

平日 午前7時30分～午後7時

土曜日 午前7時30分～午後4時

教育認定子ども

●通常

平日 午前8時30分～午後2時

土曜日 休み

土庫こども園



- 所在地 〒635-0002
大和高田市土庫1丁目10番19号
- こども園 TEL 0745-43-7801
FAX 0745-43-7802
- 子育て支援TEL 0745-43-7810
- 定員 保育認定子ども 130名
教育認定子ども 90名

教育・保育目標

- 心がおどる かんじる つながる

めざす子ども像

- 心身ともにすこやかな子
- 元気でいきいきした子
- よく考えやりぬこうとする子
- 思いやりのある子

教育・保育時間

通保育認定子ども

●通常

平日 午前8時30分～午後4時30分

土曜日 午前8時30分～正午

●基本時間外保育を含めた最長利用時間

平日 午前7時30分～午後7時

土曜日 午前7時30分～午後4時

教育認定子ども

●通常

平日 午前8時30分～午後2時

土曜日 休み

浮孔幼稚園



- 所在地 〒635-0044
奈良県大和高田市蔵之宮町1番30号
- TEL・FAX 0745-22-0455

教育目標

- わくわく いきいき みんなでつながる

めざす子ども像

- 心揺さぶる豊かな体験
- しなやかな心と身体の育成

浮孔西幼稚園



- 〒635-0055
奈良県大和高田市曾大根1-8-1
- TEL・FAX 0745-53-0369

教育目標

- つながれ うきにしっ子
うきうき にこにこしっかりと
遊ぼう学ぼう みんな笑顔の幼稚園

めざす子ども像

- 元気でたくましい子
- 思いやりのある子
- よく考えやりぬこうとする子

片塩幼稚園



- 〒635-0036
大和高田市旭北町2番4号
- TEL・FAX 0745-22-0155

教育目標

- あそぶの大好き～あそびの中の学び～
- あそびを通してルールを守り、協力することの大切さや感動する心、やさしさやいたわりの気持ちを育てます。
- 自分も友だちも大切に、お互いを認め合う人間関係を育みます。

めざす子ども像

- たくましい 心と体をもった子
- 思いを精一杯表現する子
- 最後までやり遂げる子
- 命を大切に、思いやりのある子

陵西幼稚園



- 所在地 〒635-0077
大和高田市池田2番地2
- TEL・FAX 0745-22-0655

教育目標

- 元気な子、仲良くする子、やり抜く子

めざす子ども像

- 健康で明るく、命を大切にする子
- 思いやりをもって、なかまと楽しく遊ぶ子
- 自ら考え、意欲的に取り組む子

菅原幼稚園



- 所在地 〒635-0059
大和高田市吉井340-1
- TEL・FAX 0745-22-0755

教育目標

- 心豊かで、元気いっぱい活動する子どもの育成

めざす子ども像

- 豊かな感性を持ち、のびのびと表現できる子
- 自然や人とのふれあいを大切に、思いやる子
- 自ら考え最後までやり遂げられる子

磐園幼稚園



- 〒635-0072
奈良県大和高田市有井19番地
- TEL・FAX 0745-22-0555

教育目標

- 心豊かで、たくましい子どもの育成

めざす子ども像

- 明るく元気な子
- 豊かな感性をもち素直に表現する子
- 命を大切に、思いやりのある子



社会医療法人 健生会 土庫こども診療所

病児保育園 「ぞうさんのおうち」

- 所在地 〒635-0022
大和高田市日の出町13-16
- TEL 0745-24-3120
- FAX 0745-24-3121

大和高田市 子育て情報

妊娠がわかったら……………23	親子で学ぼう……………26
赤ちゃんが生まれた……………23	子育てにも日曜日がほしいな……………27
みんなで学ぼう出産と育児……24	保育所(園)・幼稚園・こども園に入りたい…28
子育て仲間をつくろう……………25	どうしよう子どもの病気……………32



妊娠が
わかったら

月経が2週間以上遅れていたら、妊娠かもしれません。
妊娠初期はとても大切な時期！早めに産婦人科で診察を受けましょう。

母子健康手帳の交付

保健センター：TEL 23-6661 FAX 23-6660

診察を受けて、妊娠がわかったら保健センターで月2回行われている母子健康手帳交付会に参加しましょう。

母子健康手帳等の交付や助産師によるお話、個別相談を受けることができます。交付会にはお父さんやご家族も一緒に参加できます。

赤ちゃんが
生まれたら

児童手当制度

市役所 児童福祉課：TEL 22-1101 (内線 567・576)

♥対象

中学校終了までの児童
(15歳になって最初の3月31日まで)を養育している人(父母等)のうち、所得の高い方(生計の中心者)

♥手続きの方法

出生の翌日から15日以内に認定請求の手続きを児童福祉課でしてください。(公務員の場合は勤務先)転入等により受給資格が生じた場合も届出が必要です。手続きが遅れると遅れた月分の手当が受けられなくなります。

乳幼児医療費助成制度

市役所 保険医療課：TEL 22-1101 (内線 537・553)

0歳から就学前(6歳になって最初の3月31日まで)の乳幼児に対し、保険適用され医療費の一部が助成されます。

赤ちゃんの名前が健康保険証に記入されてから医療証の交付を受けてください。

児童医療費助成制度

市役所 保険医療課：TEL 22-1101 (内線 537・553)

小学1年生から中学3年生
(15歳になって最初の3月31日まで)の児童に対し、保険適用された入院医療費の一部が助成されます。

窓口で支払いされた領収書を持ってお手続きしてください。

こんにちは赤ちゃん事業

市役所 児童福祉課：TEL 22-1101 (内線 585)

♥看護師による全戸訪問

生後4か月までの赤ちゃんがいる全てのご家庭を看護師が訪問しています。

赤ちゃんの成長や、子育てに関する不安・悩み、ちょっとした心配事など、ひとりで悩まずこの機会にご相談ください。市内の子育て支援の情報なども提供いたします。
(※費用は無料です。)



みんなで学ぼう
出産と育児

妊娠・出産は誰でも不安なものです。ウェルカムベビー教室では、妊娠、出産、育児に必要な情報や妊婦さん同士の交流の場を提供しています。みんなで楽しく学びましょう。

ウェルカムベビー教室

保健センター：TEL 23-6661 FAX 23-6660

♥こんな方におすすめ

初めての妊娠・出産の方、友達や仲間づくりをしたい方

♥助産師・保健師・栄養士による教室

本やインターネットだけではわからないコツや、知って安心情報もあります！赤ちゃん人形を使っての体験や妊婦体験もできます！

乳幼児健康診査

保健センター：TEL 23-6661 FAX 23-6660

子どもさんの発達の節目である4か月・10か月・1歳6か月・3歳6か月児健診を実施しています。健診では、内科診察はもちろん、保護者の方と一緒に子どもさんの発達・発育を確認したり、育児・栄養相談や保護者の方の健康相談なども実施しています。

また、ほかの保護者の方や同じ月齢ぐらいの子どもさんとも知り合う機会にもなっています。ぜひ受けましょう。

助産師・保健師による妊産婦・乳児訪問

保健センター：TEL 23-6661 FAX 23-6660

妊娠中の方、出産後4か月までの産婦・乳児を対象に、助産師・保健師による家庭訪問をしています。妊娠中や産後は女性ホルモンのバランスが崩れ、体調も変化しやすく気持ちも不安定になりがちです。

不安や心配事を1人で抱え込まないで相談しましょう。県内に里帰り中でも訪問します。

もぐもぐ教室

保健センター：TEL 23-6661 FAX 23-6660

はじめての子育てに戸惑っているお母さんに、子どもの栄養と離乳食についてのお話と、離乳食のデモンストラーションを実施しています。

2歳児親子歯科検診・妊婦歯科検診

保健センター：TEL 23-6661 FAX 23-6660

乳歯がはえそろう、同時にむし歯も増え始める2歳のお子さんに実施しています。希望者へはフッ素塗布も行っています。保護者の方や妊婦さんも検診を受けることができます。



子育て仲間を
つくる

子育て中の方同士でゆっくり話してみませんか。
どんどん子育ての輪を広げていきましょう。

つどいの広場 プレイルーム

♥乳幼児を持つ子育て中の親子が、
気軽に集い遊べる場を提供します。

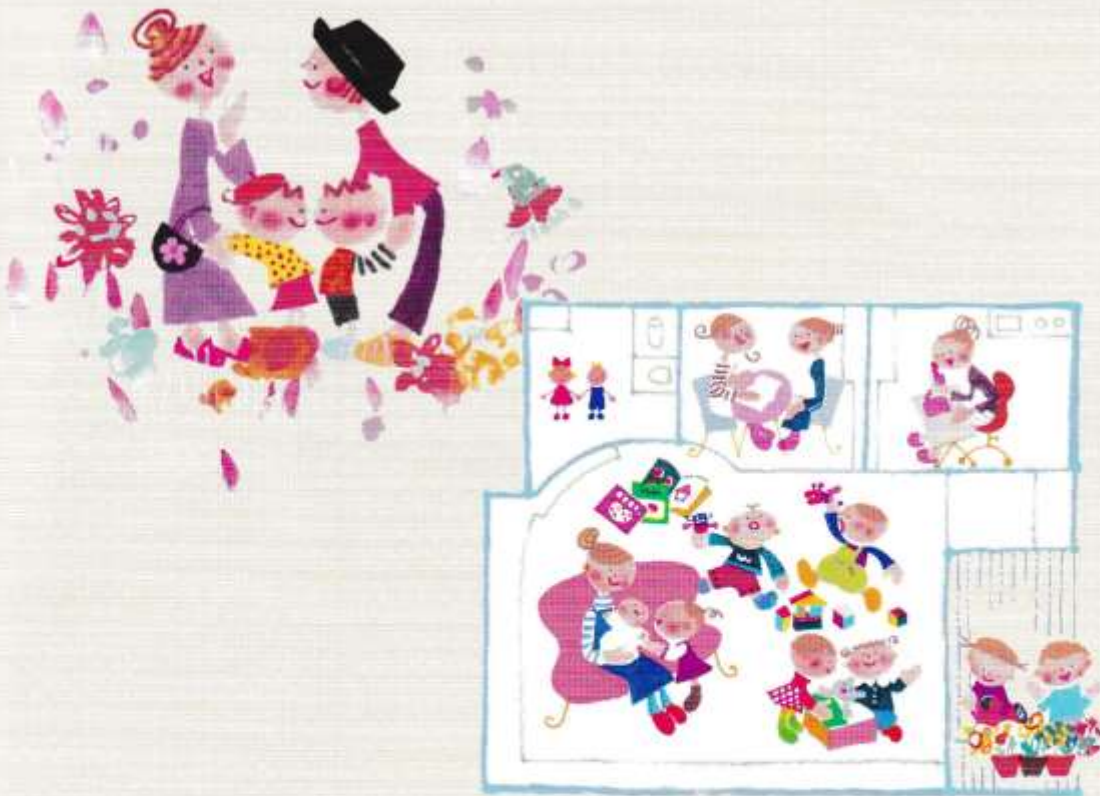
♥場所

子育て支援センター	TEL 23-1501
児童館	TEL 23-4150
高田こども園	TEL 43-5010
土庫こども園	TEL 43-7810
NPO法人ママの里	TEL 22-1438

子育てサークル

子育て支援センター：TEL 23-1501 FAX 23-1501

♥子育て奮闘中で話し相手やお子さんのお友
達がほしい方、気の合った方々同士で子育
てサークルを作ってみませんか。



親子で 学ぼう

同じ立場の親同士、子ども同士で交流を深めましょう。
きっと何か発見があるはずです。

ちびっこ広場

子育て支援センター：TEL 23-1501 FAX 23-1501

手遊び・幼児体操・お話・育児講座を実施しています。

つどいの広場「ば・お・ん」

児童館：TEL 22-4150

子育て中の方に対する育児不安の解消や健やかな育児をするためのアドバイスをし、ゆとりの子育てができるよう、保護者と子どもが集い遊べる場を提供しています。

※育児相談も随時受け付けています。

育児教室

児童館：TEL 22-4150

♥ウルトラの父（おとうさんの育児教室）

乳幼児を持つ子育て中の親子が気軽に集い、親子で出来るあそびを紹介しながら子育てを応援します。

親子教室

子育て支援センター：TEL 23-1501 FAX 23-1501

♥同年齢の子どもと保護者が集い、親子で友だち作りができる場を提供します。

- のびのびランド 3歳児とその保護者
- すくすくランド 2歳児とその保護者
- ひよこランド 1歳児とその保護者
- ベビーランド 0歳児とその保護者

東雲育児教室

東雲総合会館：TEL 22-6868 FAX 22-5333

親子でともに楽しみ、子育ての輪を広げましょう。



子育てにも
日曜日がほしいな

子育てから開放され、リフレッシュしたいときや、保護者の病気や看護のためなどで、一時的に子どもをみてほしい! こんなとき利用してください。

一時託児・子育てサポートクラブ

子育てサポートクラブ: TEL 23-1006 FAX 24-2730

保育所・幼稚園・児童ホームの送迎(親が行けないとき)や親のリフレッシュ(講演会や美容院に行きたい)このほかに子ども同伴での外出が難しい時に一時預かりをします。

※利用料と事務費の負担が必要です。

一時預かり

市役所 保育課: TEL 22-1101 (内線 566)

保護者の育児に伴う負担の解消、病気や負傷、勤務等に伴う一時的な保育が必要な時に、一時的に子どもをお預かりします。

※子どもの年齢により料金が変わります。

子育て短期支援事業

市役所 児童福祉課: TEL 22-1101 (内線 567・576)

♥ショートステイ

病気や出産、冠婚葬祭、出張などのため、児童の養育が一時的に困難になった場合、短期間(7日以内)宿泊を含めて養育を支援します。

※利用者の課税状況により負担金が必要です。

♥トワイライトステイ

保護者の仕事等で帰宅が恒常的に夜間にわたる場合など、児童の養育に困難が生じる場合の支援をします。

※利用者の課税状況により負担金が必要です。



保育所(園) に入りたい

認可保育所などでの保育を希望される場合は、保護者が働いている等「保育を必要とする事由」のいずれかに該当することが必要です。

認可保育所(園)

市役所 保育課：TEL 22-1101 (内線 566)

♥ 保育を必要とする事由

- 一か月当たり、48 時間以上労働することを常態としている場合
- 妊娠中または出産後間がない場合
- 疾病にかかり、もしくは負傷し、または精神若しくは身体に障害を有している場合
- 同居の親族(長期間入院等をしている親族を含む)を、常時介護または看護している場合
- 震災、風水害、火災、その他の災害の復旧にあっている場合
- 求職活動(起業の準備を含む)を、継続的に行っている場合
- 児童虐待や配偶者からの暴力のおそれがある場合
- 育児休業中に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要である場合
- その他、上記に類する状態として市町村が認める場合



♥ 支給認定申請(入所(園)申込)

- 来年度の新規入所(園)の受付：今年度の10月頃に期間を設けて受付
- 今年度の途中入所(園)の受付：定員に空きがある場合、保育課で随時受付

♥ 保育料

- 入所している子どもの年齢と、原則として父母等の市民税所得割額(配当控除・住宅借入金特別控除等控除前)により決定します。 ※公立保育所も私立保育園も保育料の算定方法は同じです。

♥ 保育所(園)一覧

公立保育所	住 所 地	TEL	入所年齢	定 員	延長含む保育時間()は土曜日
片塩保育所	旭北町 4-34	22-3190	6か月～5歳	120	7:30～19:00(7:30～16:00)
浮孔保育所	西三倉堂 1-13-14	22-3008		150	
天満保育所	吉井 74-2	53-3400		120	7:30～18:00(7:30～16:00)
みどり保育所	曙町 20-35	52-4891		90	
磐園保育所	有井 108-2	53-3000		90	
高田西保育所	市場 535-1	22-6775		120	

私立保育園	住 所 地	TEL	入所年齢	定 員	延長含む保育時間()は土曜日
よのもと保育園	出 154-1	52-1541	6か月～5歳	85	7:30～19:00(8:00～12:30)
三倉堂保育園	中三倉堂 1-9-3	52-5123		45	7:00～19:00(8:00～13:30)
かなえ保育園	築山 440-10	22-7123		85	7:00～19:00(7:00～16:00)

幼稚園に
入りたい

幼稚園は、学校教育法に基づく施設で、公立と私立があります。

幼稚園

市役所 学校教育課：TEL 22-1101（内線 152）

♥公立幼稚園

公立幼稚園への入園は、保護者とともに市内に在住している4・5歳児の幼児が対象です。
（浮孔西幼稚園は3・4・5歳児が対象）

♥公立幼稚園一覧

公立幼稚園	住所地	TEL(FAXはTELに同じ)	保育時間
片塩幼稚園	旭北町 2-4	22-0155	月曜日～金曜日 8:30～14:00
浮孔幼稚園	蔵之宮町 1-30	22-0455	
磐園幼稚園	有井 19	22-0555	
陵西幼稚園	池田 2-2	22-0655	
菅原幼稚園	吉井 340-1	22-0755	
浮孔西幼稚園	曾大根 1-8-1	53-0369	

♥預かり保育

保護者に用事等があり、子どもを見てもらう人がいない場合、園児を預かります。
（保育時間終了後～16:00まで、月5回まで利用できます。）

♥私立幼稚園

私立幼稚園は、学校法人、宗教法人などが設置しているため、独自の教育方針を立てているのが特徴です。
開園時間等は、直接私立幼稚園にお問い合わせください。

♥私立幼稚園一覧

私立幼稚園	住所地	TEL (FAX)	保育時間
高田カトリック幼稚園	大中南町 6-20	52-5380(FAX52-5390)	直接お問い合わせください
奈良文化幼稚園	東中 127	52-1759(FAX52-1758)	
愛恵幼稚園	神楽 52-5	22-8767(FAX52-2639)	

♥私立幼稚園就園奨励費助成制度があります。

市内在住で私立幼稚園に通園する3歳・4歳・5歳児の世帯の方に、所得に応じて保育料の補助（減免）を行います。
在園している幼稚園へ申請してください。

こども園に 入りたい

認定こども園とは、教育・保育を一体的に行う、
いわば幼稚園と保育所の両方の良さをあわせ持つ施設です。

認定こども園

市役所 保育課：TEL 22-1101（内線 566）

保護者が教育を希望される場合や、就労等により保育を希望される場合も同じ施設で、教育・保育と一緒に受けることができ、保護者の就労状況が変化した場合でも、通い慣れた園を継続して利用できることが大きな特徴です。

♥3つの認定区分（全ての認定区分の子どもが利用可能）

- 1号認定 教育標準時間認定 お子さんが満3歳以上で、幼稚園等での教育を希望される場合
- 2号認定 満3歳以上・保育認定 お子さんが、満3歳以上で、保育を必要とする事由に該当し、保育所等での保育を希望される場合
- 3号認定 満3歳未満・保育認定 お子さんが、満3歳未満で、保育を必要とする事由に該当し、保育所等での保育を希望される場合

♥保育料

入園している子どもの認定区分と年齢により、原則として父母等の市民税所得割額（配当控除・住宅借入金特別控除等控除前）により決定します。＊公立こども園も私立こども園も保育料の算定方法は同じですが、こども園の場合、施設・事業者と契約し、保育料は施設・事業者（公立の場合は市）へ支払います。

♥公立認定こども園一覧

公立こども園	認定	住 所 地	TEL	入所年齢	定 員	延長含む保育時間()は土曜日
高田こども園	1号	内本町11-22	43-5001	3～5歳	120	8:30～14:00 月～金
	2号			100	7:30～19:00 月～金 (7:30～16:00) 土	
	3号				6か月～3歳未満	
土庫こども園	1号	土庫1-10-19	43-7801	3～5歳	90	8:30～14:00 月～金
	2号			130	7:30～19:00 月～金 (7:30～16:00) 土	
	3号				6か月～3歳未満	

♥私立認定こども園一覧

私立こども園	認定	住 所 地	TEL	入所年齢	定 員	延長含む保育時間()は土曜日
つぼみこども園	1号	片塩町15-33	52-2781	3～5歳	10	8:30～14:00 月～金
	2号			120	7:00～19:00 月～金 (8:30～12:30) 土	
	3号				6か月～3歳未満	



園庭開放と行事(全ての施設で実施) 市役所 保育課：TEL 22-1101 (内線 584)

園庭開放は、保育所(園)・幼稚園・こども園で在宅の子どもさんが参加できる園の行事で、園児たちと一緒に遊んだり、また親同士で、交流の場として楽しいひとときを過ごすことができます。

※行事の日時等は、直接施設にご確認ください。

※園庭開放の日程についても都合により変更される場合がありますので、事前にご確認ください。

子育て支援(認定こども園) 市役所 保育課：TEL 22-1101 (内線 566)

子育て支援は、核家族化の進行や地域関係の希薄化等による家庭や地域の子育て力の低下等を背景に、子育てが孤立化し、子育てに不安や負担を感じる親が増加していることから、子育ての相談や子どもとの交流の場を提供するなどの事業を実施します。

児童ホーム 学校教育課：TEL 22-1101 (内線 152)

近年、核家族化が進み、両親共働きのため学校から帰っても誰もいない、いわゆる留守家庭児童が増えています。こうした子ども達が放課後、安全で健康的な生活を送るために設けられているのが児童ホームです。

現在、大和高田市には、下記8か所に児童ホームが設置されています。

※開所時間・保育料等については、学校教育課へお問い合わせください。

♥児童ホーム一覧

児童ホーム	住 所 地	TEL
片塩児童ホーム	旭北町 4-47 (片塩幼稚園東側)	53-3171
高田児童ホーム	大中東町 5-15 (高田小学校内)	22-1202
土庫児童ホーム	土庫 3-2-61 (土庫小学校内)	53-3558
浮孔児童ホーム	中三倉堂 2-5-43 (浮孔小学校内)	22-5470
磐園児童ホーム	有井 1 番地 (磐園小学校内)	22-2920
陵西児童ホーム	池田 3 番地 (陵西小学校内)	22-1200
菅原児童ホーム	根成柿 436 番地 (菅原小学校内)	22-1201
浮孔西児童ホーム	曾大根 1-5-1 (浮孔西小学校内)	53-2979

※高田・磐園・陵西児童ホームは2か所で実施



どうしょう 子どもの病気

急な発熱、けが…驚くことばかりです。まずは、かかりつけ医院へ連絡し、連絡がつかないときは下記のところに相談してください。

♥こども救急電話相談

子どもの急な病気に保護者からの相談に対して、看護師（必要に応じて小児科医）が電話でアドバイスをします。

- 相談日時： 平日 18:00～翌朝 8:00
土曜日 13:00～翌朝 8:00
- 日・祝日・年末年始：(12/29～1/3) 8:00～翌朝 8:00
- 対象： 15歳未満の子どもとその家族
- 相談電話番号： #8000（携帯電話、一般電話のプッシュ回線）
0742-20-8119（一般電話のダイヤル回線、IP電話等）

※かかりつけ医を持ちましょう

お子さんのいつもの様子や体質などを把握しているお医者さんが近くにいれば安心ですね。信頼できるかかりつけ医を持つようにしましょう。

♥INFOMATION

葛城地区休日診療所	橿原市休日夜間応急診療所	高田消防署
TEL 22-7003 西町1-45 保健センター内	TEL 0744-22-9683 橿原市致傍町 9-1 橿原保健センター内	TEL 25-0119
●診療日 日曜、祝日 年末年始(12/29～1/3)	●診療日 毎日	●急を要する場合は 119番へ連絡してください。
●受付時間 8:30～11:30 13:00～15:30 17:30～20:30 ※歯科は15:30まで	●受付時間 午後9:00～午前5:30	
●診療科 小児科・内科・歯科	●診療科 小児科（夜間）	

予防接種

保健センター：TEL 23-6661 FAX 23-6660

♥予防接種

お母さんから赤ちゃんにプレゼントされた病気に対する抵抗力（免疫）は、生後3～8か月までに自然に失われていきます。その時期を過ぎると、赤ちゃん自身で免疫を作って病気を予防する必要があります。これに役立つのが予防接種です。「副反応が心配」「病気が流行っていないのに」という声もありますが、予防接種を体調の良い時に受けることで、病気に対して免疫をつけるとともに、感染症の流行をおさえることができます。予防接種をよく知り、納得したうえで、受けるようにしましょう。



MEMO

MEMO

A sheet of white lined paper with horizontal ruling lines, placed on a white background with a light green border. The paper has rounded corners and is oriented vertically. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page.

